

『紡ぐ』

発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之
連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町梶りの197
☎・📠 0768-56-1152 (自宅☎ 0768-56-1151)



真名井川
(郵便局近辺から)

小又川

(とぎみね付近の対岸)

豪雨 「こぼ」が出ない



あの地震から、どうやら立ちあがり
ろくとしていた矢先、奥能登地方
を襲った豪雨。新潟や珠洲と
比べれば、多少は水はけの被害
が少なかったかも知れませんが、人
の心を折る悔しい災害でした。

テレビや新聞に出ている「心が折れそ
うだ」「もう心が折れていますか」とい
う言葉には、お好きな言葉を発すれば
いいのか…。

私には、こぼでいっけい頑張っ

てきて、今も頑張っています。もうこれ以上「頑張れ」とは言え
ません。「頑張ろう!」とも言えません。ほんとは、しっかりと生きる力を
おぼろげに知っています。悲しい、悔しいけれど、受けられない…。(顆は石垣さん提供)

厳しい現実の中にも この営みは 今年も確かに

地震のため、耕作できなくなった田んぼが
あちこちに見受けられます。ほんとは耕作
にこぎつけた地域では、刈り入れが進
んでいます。お天気に、懐かしい風景です。
一瞬でも、心が和めばいいのですか…。



(穴水町梶地内) (二の森大野)



(胡弓演奏家 石田音人)

復興支援演奏会

胡弓演奏家の石田音人さんを中心に、東海の音楽家10名が
10月19日(土) 穴水町を訪れ「復興支援演奏会」を開催
します。午前は下唐川仮設住宅で、午後は由比ヶ丘の仮設
住宅で行います。石田音人さんは、度目の来町になります。

いろいろの相談・情報は教育相談室「あした塾」までお寄せください。

* 次号『紡ぐ』第82号は11月1日発行予定です。

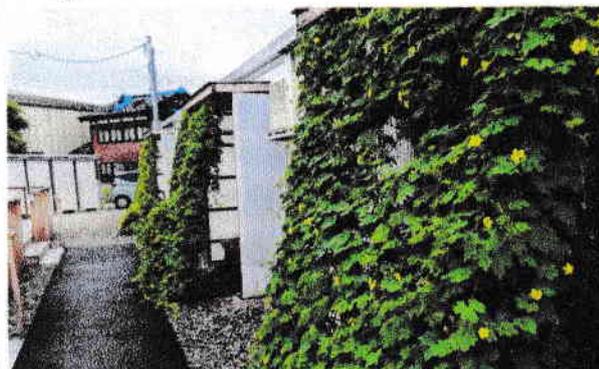
街の街景見番

9月議会のお知らせ 9月10日、市議会9月定例会の一般質問がありました。

大中正司議員、湯口孝司議員、宮本若司議員が質問に立ちました（山岩政一議員は入院治療のため取り下げ）が、この時期、長く3名しか質問に立ちないこと、"これいいのか"という思いに感じました。地震から8ヶ月、仮設住宅入居者ももちろん、被災した市民の皆さんの思いや状況を耳聞きし、一般質問という形で向当局に働きかけていくことが、市民の皆さんに希望や安堵を与え、困難に立ち向かっていく契機を働き立てることに役立つと思います。(T)



(穴水町大町 江尻屋の解体)



(仮設住宅のグリーンカーテン)

なぜ一般質問が大事なのか

「なぜ、一般質問が大事なのか」。それは議員の皆さんが何のために議員に任じたのかというところに始まるからです。まさに、議員の日常活動の問題なのです。市民の声を聴き、町の状況を見守り、「この町をどうするのか」「この町をどうにかしたいのか」を考え、行政に働きかけていく大事な仕事なのです。

「次の選挙に出たいから、一般質問はしたいんだ」と話している議員がいるとの情報が寄せられました。そんな話もありません。報酬を返納してでもやりたいはずはないはずの話です。(T)

各議員の質問は

大中正司議員 復興シンボルロードのつくり、穴水町緑化計画、住宅耐震化、合葬墓、納骨堂のつくり

湯口孝司議員 由比佐地区の災害復興、住宅再建、歩道の復旧、仮設住宅の防犯灯設置、環境美化条例

宮本若司議員 震災後の障害者福祉、取巻く環境、公費解体後の土地

復興未了の会議

9月20日、4回目の復興未了の会議が行われました。新しい町づくりのために様々なアイデアを出し、今、いつかのアイデアを具体的に実現させていくための取組を進めています。この「会議」では吉村光輝町長の強い思いを感じることでできました。これまで4回の会議は2時間ほどの時間にとどまっていたが、すべて初めの最後まで参加し、各グループの話し合いにも参加し、より積極的な取り組みができました。

この「会議」には大中正司議員(3回)、小泉一明議員(2回)、山本若司議員(1回)が傍聴に来られました。(T)

ボランティアセンター・災害支援センターは、9月10日の様子をお知らせしました。